平成２５年度（２０１３年度）

研 修 講 座 開 催 要 項







◇ホームページにも研修講座の
詳しい内容を紹介しています。
ぜひご覧ください。

◇受講の申込みは４月以降も
随時受け付けしています。
お気軽に研修センターまで
お問い合わせください。

後 志 教 育 研 修 セ ン タ ー

〒044-0013　北海道虻田郡倶知安町南３条東４丁目
TEL　0136-22-1337　FAX　0136-22-2681
E-mail　skc@cocoa.ocn.ne.jp

ホームページ　http://www.shiribeshi-etc.jp/

表紙の写真について（平成２４年度研修講座）

左上：「音楽科」研修講座（６月１９日）
　　講師　石戸谷和歌子教諭（蘭越中）、横澤一教諭（大川小）
右上：「道徳教育」研修講座（１１月７日）
　　講師　梶原大教諭（岩内第一中）、植松真将教諭（緑小　）
左下：「社会科」研修講座（６月１４日、15 日）
　　講師　金田唯史教諭（長橋中）、高橋大樹教諭（蘭越小）

はじめに

教育関係者の皆様には、新たな体制の中で、新年度のお仕事に精励され、子どもたちに生きる力をはぐくむため、ご尽力されておられることに心より敬意を表します。後志教育研修センターにおける昨年度の事業は、北海道教育庁後志教育局をはじめ、各市町村教育委員会、各教育関係機関・団体等のご支援・ご協力により、滞りなく終了することができました。厚くお礼申し上げます。とりわけ、各学校等には、研修講座における受講はもとより、講師の派遣や授業会場校として特段のご協力を賜りました。そのお陰で、学校教育法の一部改正によって示された学力の要素を、言語活動を充実させることやコミュニケーション能力の醸成などを通してはぐくむことができました。

今年度の開催要項は、それらの結果を基にして作成することはもとより、いじめ・不登校等の喫緊の教育課題にも対応できる講座や、初めて書写実技の講座を設けるなど、前年にも増して創意工夫を図ったところです。

さて、ご承知のように、当センターは昭和 50 年に創立し、後志管内 20 市町村が管内の教職員、社会教育指導者等の資質向上に役立つ研修講座事業等を共同で実施することを目的として設置されたものでございます。この目的の達成を目指し、教育関係者の皆様のご指導・ご鞭撻を仰ぎながら、学校等との連携を一層密にし、子どもたちに生きる力を育成するため、心地よい研修の場とタイムリーな教育情報を提供し、『役に立つ研修センター』を標榜してまいります。併せて、孟母三遷の教えのように、当センター内の研修環境を大いに整え、職員一同、利他の心で教育関係者の皆様のお越しをお待ち申しております。

平成 25 年 4 月 1 日

後志教育研修センター

所長　平　　正　博

目　次

はじめに

ページ

平成２５年度　後志教育研修センター運営概況　・・・・・・・・・・・・・・・　１
平成２５年度公開講義のご案内　・・・・・・・・・・・・・・・　３
研修講座の受講手続要領　・・・・・・・・・・・・・・・　４
研修講座開講一覧　・・・・・・・・・・・・・・・　５
研修講座開講スケジュール　・・・・・・・・・・・・・・・　７
研修講座要項

	ページ		ページ
①　学校経営（１）	・・・　９	⑮　道徳教育	・・・２３
②　学校経営（２）	・・・１０	⑯　音楽科	・・・２４
③　組織マネジメント	・・・１１	⑰　保健体育科	・・・２５
④　学級経営１	・・・１２	⑱　情報機器	・・・２６
⑤　学級経営２	・・・１３	⑲　学校保健	・・・２７
⑥　校内研修	・・・１４	⑳　学校事務	・・・２８
⑦　特別支援教育	・・・１５	㉑　へき地複式教育	・・・２９
⑧　学習指導	・・・１６	㉒　生活科・総合的な学習の時間	・３０
⑨　国語科	・・・１７	㉓　食育	・・・３１
⑩　社会科	・・・１８	㉔　社会教育	・・・３２
⑪　算数・数学科	・・・１９	㉕　図書館教育	・・・３３
⑫　理科	・・・２０	㉖　幼児教育	・・・３４
⑬　英語科	・・・２１	㉗　生涯学習（書写実技）	・・・３５
⑭　小学校外国語活動	・・・２２	㉘　技術・家庭科（家庭分野）	・・・３６
		㉙　図工・美術科	・・・３７

ミニ道研　・・・・・・・・・・・・・・・３８
研修講座受講申込報告書　様式　・・・・・・・・・・・・・・・３９
研修センターからのお知らせ　・・・・・・・・・・・・・・・４０

－平成２５年度―

後志教育研修センター運営概況

Ⅰ　運営の基本方針

（１）目的

後志教育研修センターは、後志管内20市町村が管内の教職員並びに社会教育指導者の資質の向上に役立つ基礎的な研修事業と管内教育の充実・振興に必要な調査研究事業を共同で実施することを目的とする。

（２）運営の方針

①　実践に生きる研修事業の改善・充実に努め、指導力の向上を図る。
②　教育課題の解決を目指す調査研究事業に努め、その成果を提供する。
③　教育情報の収集・提供に努め、情報のセンター的役割を果たす。

（３）運営の重点

①「日常実践に役立つ研修センター」を目指し、教育課題や各学校の教職員のニーズを的確に捉え、それに応える魅力あふれる講座を設定し、受講者の実践力向上・学校力向上に努める。
②教育の今日的課題の解明を図る調査研究を推進し、実践に生きる研究資料を提供するとともに、管内教職員個々の資質向上・学校力向上に努める。
③研究資料等の収集・充実を図り、教育情報のセンター的役割を果たすように努める。
④管内小中学校及び教育機関団体と緊密な連携を図り、管内教育の向上に努める。

Ⅱ　研修講座事業

（１）研修講座開設の趣旨

今日、教育全般について様々な課題が生じており、学校・家庭・地域など社会全体が協力して、その解決に取り組むことが重要である。特に「人間力」向上のための教育改革の進む中で、各学校においては「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をはぐくみ、地域に対し「信頼される学校づくり」を進めることが、これまでにも増して求められている。

学校教育関係の講座においては、これらに応える学校・学級経営や教科指導、特別支援教育の在り方を中心とした講座を設定し、教職員一人一人がプロとして、自ら高い専門性と実践的な指導力を身に付けるよう「教師力」の強化を図る。

また、社会教育、幼児教育各講座の内容においても、今日的課題を明確にしながら関係機関のニーズに合った講座を開設し、担当者の資質・能力の育成と実践的な指導力の向上を図る。

（２）講座内容

これまで実施してきた講座の内容を継続・発展しつつ、今日的課題の解明を図るものとする。

新学習指導要領が中学校においても本格実施されたことから、各教科の講座においては、学習指導要領の改訂の趣旨や方向性についての時間を設け、そこで求められている授業を浸透させていくものとする。

また、以下の点については、アンケートの結果や社会のニーズを鑑みて、改善して実施する。

①今日、いじめ・不登校等の問題がクローズアップされていることから、昨年度の「学級経営１　ネットパトロール」の講座を拡げ、「学級経営１　児童生徒理解」とし、午前中を小学校高学年から中学校段階で生じる課題などの講義を予定し、午後からは「ネットパトロール・情報モラル」の講座とし、午後のみの受講も可能とする。

②昨年度の「学級経営２　Ｑ－Ｕ」の内容を拡げ、「学級経営２　いじめ・不登校」とし、午前中は経験年数５年目までの教員を対象に講義等を予定し、午後からはＱ－Ｕ（あるいはアセス）と構成的グループエンカウンター（あるいはソーシャルスキル）の内容から選択し、午後のみの受講も可能とする。

③変化の激しい時代の中、昨年度の「教育課程」の内容を拡げ、「組織マネジメント」とし、中堅教諭に求められるマネジメント力を生かした学校の活性化に向けての研修を深める。

④指導力の向上を図るために、教職員・社会教育指導者を対象に「伝統文化（書写実技）」「ボランティア活動」「生涯体育」の３講座を１年ごとに開設する。次年度は「伝統文化（書写実技）」とし、講義や実技、書写の授業公開などを検討している。

⑤幼・保・小の連携を一層深めるため、「幼児教育」の受講対象者に「小学校低学年の教員」も付記するとともに、小学校の教員も講師として選出する。

（３）講座日程

これまでの受講者数の動向などを踏まえて、より参加しやすい日程の設定を行う。

①実技研修については、授業を支える実技の習得を主なねらいとして１日日程とする。

②「生活科・総合的な学習の時間」においては、１日日程としながら、午後から分科会に分かれる形をとる。

③「小学校外国語活動」の講座については２日日程とし、早い時期に理論研修を行い、後半は授業実践を行う。

④「技術・家庭科」の「技術科」と「家庭科」、「特別活動」と「図工・美術科」については、管内の教職員の実態を踏まえて、隔年での開催とする。

⑤「食育」に関する研修講座は、夏季休業中に実施する。また、食に係わる指導の充実のためビデオにより「食育を取り入れた授業実践」を視聴し、管内における食育の活性化を図る。

（４）講師

①講師は管内教職員から要請する。決定については、所員会議及び学校・教育関係機関団体からの意見を聴き、決定する。

②「実践と授業を結びつけた講座」では原則所員を配置する。また中学校が昨年度より新学習指導要領の本格実施に入ったことから後志教育局と積極的に連携を図る。

③外部講師については、講師と打ち合わせを持ち配置していく。北海道立教育研究所、北海道立教育研究所附属理科教育センター、北海道立特別支援教育センター等を積極的に活用していくとともに、管外より招聘した講師の講義については、公開講義として設定し、研修講座受講者に加えて、教育関係者に公開をしていく。

（５）その他

①「図書館教育」「特別支援教育」の講座内容については、カテゴリーにとらわれず活用できる内容であることから、講座講師と確認の上、可能な範囲で講義内容について様々な媒体を通じて閲覧できるようにする方向で検討していく。

②授業実践については、授業者と確認の上、ビデオ撮影を行い、閲覧できるように整備することを検討していく。

平成25年度公開講義のご案内

公開講義のご案内

（公開講義のみの参加も可能です。）

講座名	日時・会場	講　義　内　容	講　　師
授業づくり **【ミニ道研】**	６月１２日（水） 9:30 ～ 16:00 後志教育研修センター	**9:30～12:00　教科指導** **13:00～16:00　言語活動**	北海道立教育研究所
⑫理　　科	６月１３日（木） 12:50 ～ 15:45 後志教育研修センター	**実技研修** **「フィールドワーク」**	小樽市立桜町中学校 教諭　髙尾　有希子　氏
④学級経営１	６月１９日（水） 13:30 ～ 15:45 倶知安町立倶知安中学校	**実技研修** **「ネットパトロールについて」**	北海道立教育研究所 附属情報処理教育センター
⑦特別支援教育	６月２１日（金） 10:30 ～ 11:50 後志教育研修センター	**講義** **「未定」**	北海道教育大学　札幌校 教授　青山　眞二　氏
⑨国　語　科	６月２６日（水） 10:30 ～ 11:50 ※会場校は後日連絡	**講義** **「新教育課程における国語科のねらいと国語科指導の今日的課題」**	言語・教育研究集団主宰 安藤　修平　氏
⑲学校保健	７月１６日（火） 12:50 ～ 14:10 後志教育研修センター	**講義** **「トラウマが起こる仕組みとその予防」**	プレマカウンセリングルーム 臨床心理士　藤原　ちえこ　氏
⑤学級経営２	７月３１日（水） 13:10 ～ 15:45 後志教育研修センター	**実技研修** **「QU」** **「グループエンカウンター」**	ＱＵ：函館大谷短期大学 専任講師　阿部　千春　氏 グループエンカウンター：未定
⑭小学校外国語活動 **【ミニ道研】**	８月　５日（月） 12:50 ～ 15:45 後志教育研修センター	**講義** **「未定」**	北海道立教育研究所
⑱情報機器	８月　７日（水） 10:30 ～ 15:45 寿都町立潮路小学校	**講義** **「授業におけるICT機器の効果的な活用法を探る」**	旭川市立春光小学校 教諭　山口　有士　氏

※受講申込及び受講決定通知は、一般の講座と同様です。公開講義のみ受講希望される方は、申込用紙の公開講義欄に記入してください。

※今年度のミニ道研については、「基本研修（授業づくり）」研修講座を当センターとは別に単独開催します。また、「小学校外国語活動」研修講座は当講座と兼ねて実施します。受講申込は一般の講座と同様に申込みするようお願いいたします。なお、ミニ道研に係る受講旅費は道費支弁となります。

研修講座の受講手続要領

【受講申込と決定】

※　受講の申込並びにその決定は、講座準備の関係から、下記のようにいたしますので、ご協力をお願いいたします。

◆ **先生方は** **４月１０日（水）までに**	・　受講希望講座を選んで、講座名を学校長に申し出てください。 ・　講座講師の方も必ず申し出てください。
⇩	
◆ **各学校長は** **４月１１日（木）までに**	・　自校の受講希望者を取りまとめ、所定の用紙に記入の上、所属教育委員会に報告してください。
⇩	
◆ **各教育委員会は** **４月１６日（火）までに**	・　各学校からの受講希望者を取りまとめ、研修センターより送付いたしました所定の用紙に記入し、報告してください。
⇩	
◆ **研修センターは** **４月２２日（月）までに**	・　各教育委員会に受講者の決定通知をいたします。（必要に応じて、各教育委員会と調整する場合もございます。）
⇩	
◆ **各教育委員会は** **４月２６日（金）までに**	・　各学校長に受講決定者に対する決定通知を出してください。
⇩	
◆ **各学校長は** **５月　２日（木）までに**	・　受講希望者に受講決定の通知を必ず渡してください。

※　申込の期日は厳守にてお願いいたします。

※申込み期間以外でも、希望がございましたら、お気軽に当センターにお問い合わせ下さい。
※年度途中のお申込みには、背表紙内側の申込み用紙をコピーしてお使い下さい。ホームページからもダウンロードできます。

【受講時のお願い】

① 受講される先生は、開催要項をよく読んで参加してください。
② やむを得ない事情で受講を取り消しする場合や講座の一部の日程にのみ参加する場合は所属長に申し出、所属教育委員会を通じて必ず連絡をお願いいたします。
③ 講座当日は、開始時刻までに受付を済ませてください。
④ 都合により、講座の日程を変更する場合もございますので、予めご了承ください。

平成２５年度

研 修 講 座 開 講 一 覧

Ⅰ　学校・学級づくりの講座

No.	研修講座名	対象	講師	期日	公開	授業	ページ
①	学校経営（１）	小中学校　校長	巻　礼子（蘭越小） 沼田　守（長橋中）	７月３０日（火）			9
②	学校経営（２）	小中学校　教頭	丸岡　哲也（黒松内小） 冨成　博人（北山中）	７月３１日（水）			10
③	組織マネジメント	小中学校教職員	佐藤　裕司（忍路中） 柿原　徹（赤井川小） 加藤　数馬 （京極町学校教育指導主事）	８月３０日（金）			11
④	学級経営　1	小中学校教職員	小林　正人（ニセコ小） 柴田　靖士（仁木中）	６月１９日（水）	○		12
⑤	学級経営　2	小中学校教職員	藪田　晃一（沢町小） 佐藤　誠二（倶知安中）	７月３１日（水）	○		13
⑥	校内研修	小中学校教職員	研修センター所員	７月１２日（金）			14
⑦	特別支援教育	小中学校教職員	下岡　直正（沢町小） 高橋　一弘（昆布小） 川尻　祥子（望洋台中）	６月２０日（木） ２１日（金）	○		15

Ⅱ　実践と授業を結びつけた講座

No.	研修講座名	対象	講師	期日	公開	授業	ページ
⑧	学習指導	小中学校教職員	研修センター所員	９月１７日（火） １８日（水）		○	16
⑨	国語科	小中学校教職員	堤　洋平（黒川小） 末廣　恵子（寿都中）	６月２５日（火） ２６日（水）	○	○	17
⑩	社会科	小中学校教職員	高橋　大樹（蘭越小） 田村　仁（朝里中）	９月１１日（水） １２日（木）		○	18
⑪	算数・数学科	小中学校教職員	秋田　匡（古平小） 坂下　賛匠（赤井川中）	８月２７日（火） ９月　４日（水）		○	19
⑫	理科	小中学校教職員	古館　幸恵（銀山小） 渡邊　基寛（美国中）	６月１２日（水） １３日（木）	○	○	20
⑬	英語科	小中学校教職員	村上　慈（仁木中） 笠田麻由香（寿都中）	６月１１日（火） ９月１０日（火）		○	21
⑭	小学校外国語活動	小中学校教職員	高橋　健悟（倶知安小） 赤松　恵（ニセコ中）	５月１０日（金） ８月　５日（月）	○	○	22
⑮	道徳教育	小中学校教職員	梶原　大（岩一中） 岡本　浩靖（岩内中央小）	１１月　６日（水）		○	23

Ⅲ　指導実技を高める講座

No.	研修講座名	対象	講師	期日	公開	授業	ページ
⑯	音楽科	小中学校教職員	岩﨑　正（長橋中） 横澤　一（倶西小）	６月１８日（火）		○	24
⑰	保健体育科	小中学校教職員	小寺　友興（銭函小） 石川　周亨（島牧中） 岡崎　利美（潮見台中）	８月２２日（木）		○	25
⑱	情報機器	小中学校教職員	齊藤　良樹（潮路小）	８月７日（水）	○		26

Ⅳ　専門性を高める講座

No.	研修講座名	対象	講師	期日	公開	授業	ページ
⑲	学校保健	小中学校養護教諭	谷岡三千子（桂岡小） 佐藤ひろみ（留寿都中）	７月１６日（火）	○		27
⑳	学校事務	小中学校事務職員	田村　幸治（ニセコ中） 中村　祐明（潮路小） 佐藤　貴広（北陽小）	５月１３日（月）			28
㉑	へき地複式教育	小中学校教職員	髙橋　創（樺山分校） 吉田　肇（登小）	５月１６日（木）		○	29
㉒	生活科・総合的な学習	小中学校教職員 社会教育担当者	髙木　弘道（美国小） 瀬戸川典子（仁木小）	８月　８日（木）			30
㉓	食育	小中学校栄養教諭 栄養士　栄養職員 小中学校教職員	福井　隆子（真狩小） 田中　彩香（仁木小）	８月　１日（木）			31

Ⅴ　生涯学習に結びつく講座

No.	研修講座名	対象	講師	期日	公開	授業	ページ
㉔	社会教育	社会教育担当者 小中学校教職員	未定	９月　６日（金）			32
㉕	図書館教育 （読書指導）	小中学校教職員 社会教育担当者	加藤　幸子（倶東小） 佐藤　淳子（長橋中）	９月　４日（水）			33
㉖	幼児教育	幼稚園教職員 保育所保育士 小学校教職員	金本　真一（岩内東小）	８月　２日（金）			34
㉗	生涯学習 （書写実技）	全教職員	秋元　雪（塩谷小） 井上　公明（留寿都中） 北澤実和子（赤井川小）	８月　９日（金）			35

Ⅵ　隔年開催講座

No.	研修講座名	対象	講師	期日	公開	授業	ページ
㉘	技術・家庭科 （家庭分野）	小中学校教職員	佐藤美知留（長橋中）	８月２８日（水）			36
㉙	図工・美術科	社会教育担当者	佐藤　初実（菁園中） 赤松　瑞枝（黒松内小）	７月　９日（火）			37

★★ミ ニ 道 研★★　（主催：北海道立教育研究所・後志教育研修センター）

※⑭は 研修センターの講座の一部を兼ねて実施します。

No.	研修講座名	対象	講師	期日	ページ
―	基本研修 「授業づくり（全教科）」	小中学校教職員	外部講師	６月１２日（水） 教科指導　9:30～12:00 言語活動　13:00～16:00	38
⑭	小学校外国語活動	小中学校教職員	外部講師	８月　５日（月） 12:50～16:00	22

平成２５年度

研修講座開講 *Schedule*

5 MAY

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
		憲法記念日	みどりの日	こどもの日	☆☆☆☆☆☆☆☆☆				小学校外国語活動①	☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆	学校事務			へき地複式教育		☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆						☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆					

6 JUN

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆						☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆		英語科①	理科①ミニ道研	理科②		☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆		音楽科	学級経営1	特別支援教育①	特別支援教育②	☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆		国語科①	国語科②			☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

7 JUL

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
					☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆		図工・美術科			校内研修	☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	海の日	学校保健				☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆					☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆		学校経営1	学校経営2 学級経営2

8 AUG

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
食育	幼児教育	☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆	小学校外国語活動②	後志教育講演会	情報機器	生活科・総合的な学習	書写実技	☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆						☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆				保健体育科		☆☆☆☆☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆☆☆☆☆		算数・数学科①	家庭科		組織マネジメント	

9 SEP

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
☆			図書館教育 算数・数学科②		社会教育（仮）	☆	☆		英語科②	社会科①	社会科②		☆	☆	敬老の日	学習指導①	学習指導②			秋分の日	☆							☆	☆	

10 OCT

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
				☆	☆	体育の日					☆	☆						☆	☆						☆	☆				

11 NOV

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	文化の日	☆			道徳教育			☆	☆						☆	☆					勤労感謝の日	☆	☆						☆

12 DEC

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
☆						☆	☆						☆	☆						☆	天皇誕生日	☆					☆	☆	☆	☆

① 学校経営（１） 研修講座

新しい時代に求められる学校経営

期　　日	平成２５年　７月３０日（火）
対 象 者	小中学校　校長
目　　的	学校経営の充実を目指し、教育現状の的確な把握と当面する経営上の課題を取り上げ、創意を生かした活力ある学校経営の在り方について研修する。
会　　場	後志教育研修センター　（℡ 0136-22-1337）
研修の内容	１.社会の変化に対応する学校経営の在り方 ２.経営参画意識の高揚と組織の活性化 ３.経営改善につながる学校評価 ４.経営改善への実践交流及び研究協議
日　　程	10:30 / 11:50 / 12:50 / 14:10 / 14:30 / 15:45 開講式 ／ 講義1：社会の変化に対応する学校経営の在り方 ／ 昼食 ／ 講義2・3：経営参画意識の高揚と組織の活性化、経営改善につながる学校評価 ／ 休憩 ／ 研究協議4：経営改善への実践交流及び研究協議 ／ 閉講式
講　　師	◎ 巻　　礼　子　（蘭越町立蘭越小学校　校長） 沼　田　　守　（小樽市立長橋中学校　校長） ◇ 後志教育局　義務教育指導監
持参品など	

② 学校経営（２） 研修講座

新しい時代に求められる学校経営

期　　日	平成２５年　７月３１日（水）
対 象 者	小中学校　教頭
目　　的	学校経営の充実を目指し、教育現状の的確な把握と当面する経営上の課題を取り上げ、学校の実態に即した活力ある学校経営の在り方について研修する。
会　　場	後志教育研修センター　（℡ 0136-22-1337）　（受講者数により会場を変更することがあります）
研修の内容	１.教育課程の管理・改善と教頭の役割 ２.学校経営上における教頭の職務と課題 ３.研究協議
日　　程	10:30 / 11:50 / 12:50 / 14:10 / 14:30 / 15:45
講　　師	◎ 冨　成　博　人　（小樽市立北山中学校　教頭） 丸　岡　哲　也　（黒松内町立黒松内小学校　教頭） ◇ 後志教育局　義務教育指導班　主査
持参品など	

開講式	オリエンテーション 講義1	昼食	講義2・ 研究協議3	休憩	講義4・ 研究協議5	閉講式
	教育課程の管理・改善と教頭の役割		学校改善に生かす学校評価の在り方		学校改善に生かす小中連携の在り方	

③組織マネジメント 研修講座

新たな時代に求められる学校運営を目指して

期　　日	平成２５年　８月　８日（金）
対 象 者	小中学校　教職員
目　　的	変化の激しい時代の中、中堅教諭には教職員のボトムアップを図るマネジメントが求められ、それらを生かした組織的な学校運営の在り方について研修する。
会　　場	後志教育研修センター　（℡ 0136-22-1337）
研修の内容	１．学校として実現したいことを企画（創り上げる組織改革） ２．組織連携、行動連携を軸にした教職員の意識改革① ３．組織連携、行動連携を軸にした教職員の意識改革②
日　　程	10:30 / 11:50 / 12:50 / 14:10 / 14:30 / 15:45 開講式 / オリエンテーション 講義１：学校として実現したいことを企画（創り上げる組織改革） / 昼食 / 講義2 演習3：組織連携、行動連携を軸にした教職員の意識改革① / 休憩 / 研究協議4 実践交流5：組織連携、行動連携を軸にした教職員の意識改革② / 閉講式
講　　師	◎ 佐　藤　裕　司　（小樽市立忍路中学校　教諭） 柿　原　　徹　（赤井川村立赤井川小学校　教諭） 加　藤　数　馬　（京極町学校教育指導主事）
持参品など	

④ 学 級 経 営 （ １ ） 研修講座

基礎的な知識と技法を磨き、個と集団の確立を目指して

期　　日	平成２５年　６月１９日（水）
対 象 者	小中学校　教職員　※定員４０名
目　　的	学級成員１人１人の個性を生かすとともに、相互確認し合える段階まで学級を高め、意欲的に集団活動できる望ましい学級経営の在り方について研修する。
会　　場	AM　後志教育研修センター PM　倶知安町立倶知安中学校　視聴覚室　（℡ 0136-22-0192）
研修の内容	１.児童生徒理解のための具体的な方法 ２.学級経営の現状と課題 ３.ネットパトロール実技講習
日　　程	10:30 開講式 10:40 講義１ 児童生徒理解のための具体的方法 11:30 講義２ 学級経営の現状と課題 12:30 昼食 13:30 実技研修１ 〔公開〕ネットパトロール実技研修① 14:40 研究協議 14:50 実技研修２ 〔公開〕ネットパトロール実技研修② 15:45 閉講式
講　　師	◎　小　林　正　人　教諭　（ニセコ町立ニセコ小学校） 　　柴　田　靖　士　教諭　（仁木町立仁木中学校） ◇ 外部講師　　北海道立教育研究所　附属情報処理教育センター　講師
持参品など	

⑤ 学 級 経 営 （ ２ ） 研修講座

いじめ・不登校の予防と対策

期　　日	平成２５年　７月３１日（水）
対 象 者	小中学校　教職員
目　　的	いじめ・不登校の問題について理解を深め、予防方法や組織的な対応など、実践的な指導の在り方について研修する。
会　　場	後志教育研修センター　（℡　0136-22-1337）
研修の内容	１.組織的ないじめ・不登校対策 ２.いじめ・不登校に対する実践と課題 ３.QU・グループエンカウンターの活用
日　　程	10:30 開講式 10:40 講義1　組織的ないじめ・不登校対策 11:20 講義２　いじめ・不登校に対する実践と課題 12:10 昼食 13:10 実技講習１／実技講習２ ＱＵ選択の場合：ＱＵ検査の実施と検査結果の活用について グループエンカウンター選択の場合：未　定 14:20 / 14:35 / 15:45 閉講式
講　　師	◎　佐　藤　誠　二　教諭　（倶知安町立倶知安中学校） 藪　田　晃　一　教諭　（余市町立沢町小学校） ◇ 外部講師　ＱＵ：阿部　千春　氏（函館大谷短期大学　専任講師） グループカウンセラー：　未　定
持参品など	・事例や実践例など

⑥ 校　内　研　修　研修講座

校内研修を活性化するために

～全員参加の校内研修を目指して～

期　　日	平成２５年　７月　１２日（金）
対 象 者	小中学校　教職員
目　　的	校内研修の充実を目指し、日常の授業実践を踏まえた組織的・計画的な校内研修の在り方について研修する。
会　　場	後志教育研修センター　（℡　0136-22-1337）
研修の内容	１.ワークショップを生かした校内研修の進め方 ２.マネジメントサイクルを機能させた校内研修体制の確立について ３.実践交流・各校の実践交流（研修計画の紹介）
日　　程	10:30　10：40　12:10　13:20　14:25　14:35　15:45

開講式	オリエンテーション 講義1 ワークショップを生かした校内研修の進め方	昼食	講義2 マネジメントサイクルを機能させた校内研修体制の確立について	休憩	研究協議3 実践交流・各校の実践交流（研修計画の紹介）	閉講式

講　　師	◇ 後志教育研修センター所員
持参品など	・ 自校の研修計画、校内研修資料を持参してください。 ・ 校内研究についてのこれまでの取組の成果・課題、経過が記述されたもの（研究紀要など）

⑦ 特 別 支 援 教 育　研修講座

学校全体で取り組む特別支援教育

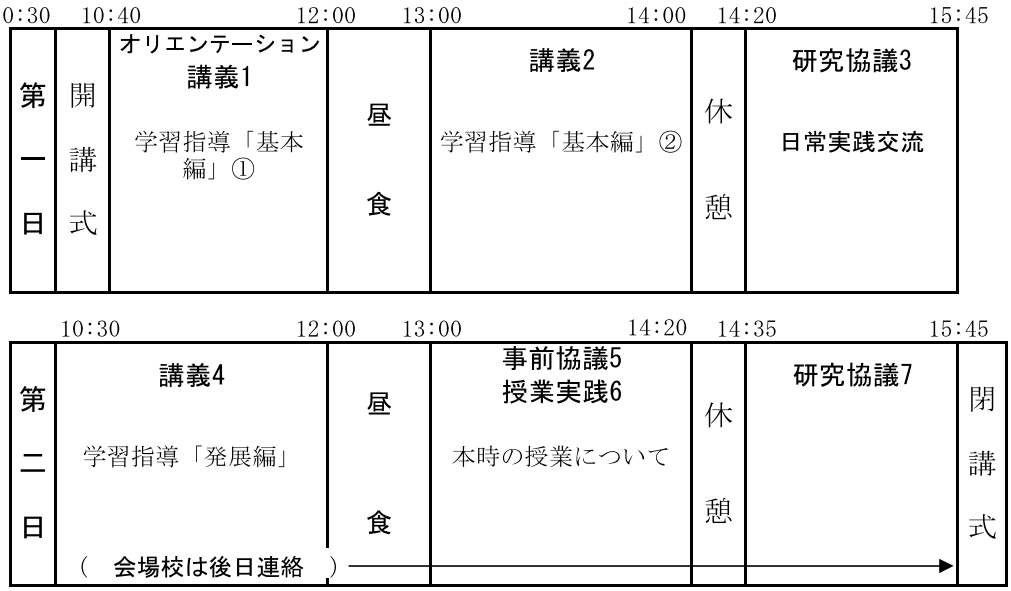
～子どもをどうとらえるか～

期　　日	平成２５年　６月２０日（木）・２１日（金）
対 象 者	特別支援教育担任に初めてなった方（３年以内）、通常学級担当の先生
目　　的	児童生徒の適切な理解と一人一人の教育的ニーズに応じた指導支援の在り方について研修する。
会　　場	後志教育研修センター　（℡　0136-22-1337）
研修の内容	１．概論（擬似体験含む） ２．小学校における取組 ３．中学校における取組（進路含む） ４．通常学級に在籍する児童生徒への支援 ５．公開講義 ６．ことばの教室について ７．研究協議及び実践交流
日　　程	10:30　10:40　12:20　13:20　14:30　14:40　15:45 第一日 / 開講式 / 講義1 演習2 概論（擬似体験） / 昼食 / 講義3・4 小学校における取組 中学校における取組 / 休憩 / 講義5 通常学級に在籍する児童生徒への支援 10:30　11:50　12:50　14:10　14:30　15:45 第二日 / 公開講義6 〔公開〕 / 昼食 / 講義7 ことばの教室について / 休憩 / 研究協議8 研究協議及び各校の実践交流 / 閉講式
講　　師	◎ 下　岡　直　正　（余市町立沢町小学校　教諭） 高　橋　一　弘　（蘭越町立昆布小学校　教諭） 川　尻　祥　子　（小樽市立望洋台中学校　教諭） ◇ 北海道教育大学札幌校　教授　青　山　眞　二　氏
持参品など	

⑧ 学 習 指 導 研修講座

授業力を磨こう

～自ら考える力を育む学習指導の工夫～

期　　日	平成２５年　９月　１７日（火）・１８日（水）
対 象 者	小中学校　教職員 ※特に１日目は「基本編」（基本的な学習ルール、板書、発問、ノート指導など）ですので、経験年数の少ない先生向けの内容となります。２日目は、学習指導研究委員会の研究内容と授業実践を通した研究協議となりますので、経験年数等は問いません。２日目からの参加も可です。
目　　的	学習指導の充実を目指し、自ら学ぶ力を育成する指導方法の改善や学ぶ意欲を育てる指導と評価の在り方について研修する。
会　　場	（１日目）後志教育研修センター　（℡　0136-22-1337） （２日目）会場校は後日連絡します
研修の内容	１．オリエンテーション（自己紹介など） ２．学習指導「基本編」（基本的な学習ルール、板書、発問、ノート指導など） ３．日常実践交流 ４．学習指導「発展編」（単元構成や学習過程の工夫、言語活動の充実、評価の在り方など） ５．事前協議 ６．授業実践 ７．研究協議
日　　程	
講　　師	◇ 後志教育研修センター所員
持参品など	・ 後志教育研修センター調査研究事業の「学習指導に関する研究委員会」の研究内容を取り上げ、検証授業を公開いたします。会場は未定ですので、後日受講者へ連絡いたします。

⑨ 国　語　科 研修講座

基礎・基本の定着と言語活動の充実を目指して

期　日	平成２５年　６月２５日（火）・ ２６日（水）
対 象 者	小中学校　教職員
目　的	国語科指導の充実を目指し、個性を生かし、自ら学ぶ意欲を育てる望ましい指導の在り方について研修する。
会　場	（１日目）会場校は後日連絡します。 （２日目）後志教育研修センター　（℡　0136-22-1337）
研修の内容	１．新教育課程における国語科の役割と課題 ２．確かな学力を育てる国語科指導の在り方 ３．国語科における言語活動の充実を図った授業づくり ４．新学習指導要領における国語科のねらいと国語科指導の今日的な課題 ５．授業実践と研究協議 ６．実践交流
日　程	
講　師	◎ 堤　　洋　平　（余市町立黒川小学校　教諭） 末　廣　恵　子　（寿都町立寿都中学校　教諭） ◇ 言語・教育研究集団主宰　安藤　修平　氏 ◇ 後志教育局　講師
持参品など	・実践交流のための資料を持参してください（指導案やワークシート、日常の取り組みなど）。

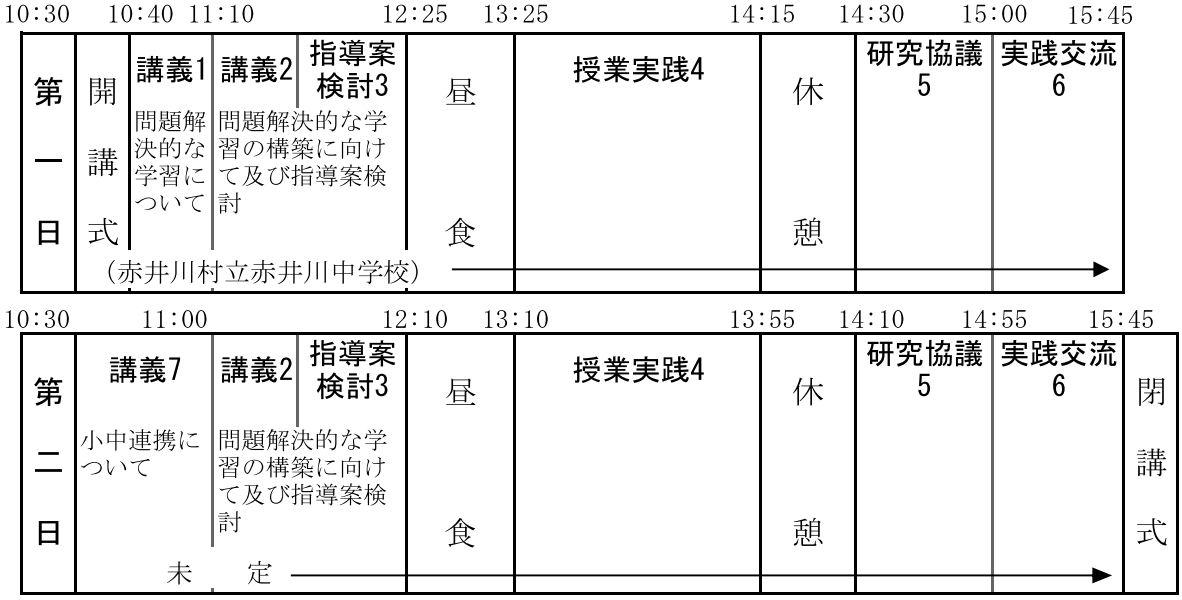
⑩　社　会　科　研修講座

思考力・判断力・表現力を育てる社会科指導の在り方　～授業実践を通して～

期　日	平成２５年　９月１１日（水）・　１２日（木）
対象者	小中学校　教職員
目　的	社会科指導の充実を目指し、個性を生かし、自ら学ぶ意欲を育てる望ましい指導の在り方について研修する。
会　場	（１日目）蘭越町立蘭越小学校　（℡ 0136-57-5134） （２日目）小樽市立朝里中学校　（℡ 0134-54-6321）
研修の内容	１．社会科について① ２．授業実践① ３．研究協議① ４．社会科について② ５．授業実践② ６．研究協議② ７．演習・実践交流
日　程	10:30 10:40 11:25 12:10 13:10 14:10 14:30 15:45 第一日：開講式 ／ 講義1 社会科について① ／ 授業実践２ 授業公開① ／ 昼食 ／ 研究協議３ 研究討議① ／ 休憩 ／ 講義４ 社会科について②（蘭越町立蘭越小学校） 10:30 11:35 12:50 13:50 14:50 15:45 第二日：授業実践５（10:45～11:35） 授業公開②（小樽市立朝里中学校） ／ 昼食 ／ 研究協議６ 研究討議② ／ 休憩 ／ 演習７ 演習・実践交流 ／ 閉講式
講　師	◎ 高　橋　大　樹　（蘭越町立蘭越小学校　教諭） 田　村　　仁　（小樽市立朝里中学校　教諭） ◇ 後志教育局　講師
持参品など	・これまでの実践（指導案、教材等） ・パソコンを持ち込んでも構いません。

⑪ 算 数 ・ 数 学 科 研修講座

問題解決的な学習の日常化のために

期　　日	平成２５年　８月２７日（火）・　９月　４日（水）
対 象 者	小中学校　教職員
目　　的	小・中の交流を図りながら、それぞれの段階に応じた問題解決的な学習の進め方について研修する。
会　　場	（１日目）赤井川村立赤井川中学校(℡0135-34-6861) （２日目）未定（受講者に後ほどお知らせします）
研修の内容	１．（１日目）問題解決的な学習について　（２日目）小中連携について ２．問題解決的な学習の構築に向けて ３．指導案検討 ４．授業実践 ５．研究協議 ６．実践交流
日　　程	
講　　師	◎ 秋　田　　匡　（古平町立古平小学校　教諭） 坂　下　賛　匠　（赤井川村立赤井川中学校　教諭） ◇ 後志教育局　講師
持参品など	・特になし　気楽に参加してください。

⑫　理　　科　　研修講座

科学的な思考力、表現力の育成

期　　日	平成２５年　６月１２日（水）・１３日（木）
対 象 者	小中学校　教職員
目　　的	理科指導の充実を目指し、個性を生かし、自ら学ぶ意欲を育てる望ましい指導の在り方について研修する。
会　　場	（１日目）　未　　定 （２日目）後志教育研修センター　（℡ 0136-22-1337）
研修の内容	１．授業実践 ２．研究協議 ３．講義 ４．小中連携について ５．演習 ６．公開講義
日　　程	10:30　11:50　12:50　14:10　14:30　15:45 第一日：開講式／授業実践１ 研究協議２（未　定）／昼食／講義３／休憩／研究協議4（小中の連携について）→ 16:00 第二日：演習５／昼食／公開講義６／休憩／公開講義７／閉講式
講　　師	◎ 渡　邊　基　寛　（積丹町立美国中学校　教諭） 古　館　幸　恵　（仁木町立銀山小学校　教諭） ◇ 講師　髙　尾　有希子　（小樽市立桜町中学校　教諭）
持参品など	

⑬ 英　語　科 研修講座

ICT機能を活用してみよう！

期　日	平成２５年　６月１１日（火）・　９月１０日（火）
対 象 者	小中学校　教職員
目　的	英語科指導の充実を目指し、個性を生かし、意欲を高める手段としてのICT機器の活用方法と基礎を養う指導の在り方について研修する。
会　場	（１日目）後志教育研修センター　（℡ 0136-22-1337） （２日目）寿都町立寿都中学校　（℡0136-62-2158）
研修の内容	１．生徒の意欲を引き出すICTの活用 ２．ICTを活用した授業例（実習） ３．実践交流①（日頃のICT機器の活用例） ４．授業実践（ICT機器を使った授業） ５．研究協議 ６．実践交流②
日　程	10:30　10:40　11:50　12:50　14:10　14:30　15:45　16:00 第一日：開講式 ／ 講義1：生徒の意欲を引き出すICTの活用 ／ 昼食 ／ 実習2：ICTを活用した授業例（実習） ／ 休憩 ／ 実践交流①3：日頃のICT機器の活用例 第二日：授業実践4：ICT機器を使った授業（寿都町立寿都中学校） ／ 昼食 ／ 研究協議５：ICT機器を使った授業について ／ 休憩 ／ 実践交流②6 ／ 閉講式
講　師	◎ 村　上　　慈　（仁木町立仁木中学校　教諭） 末　廣　恵　子　（寿都町立寿都中学校　教諭）
持参品など	・ICTを活用した授業の資料及びデータ。もしくは、日頃の実践資料 （デジタル教科書を活用している方は、実践例を報告していただけるとありがたいです。）

⑭小学校外国語活動　研修講座

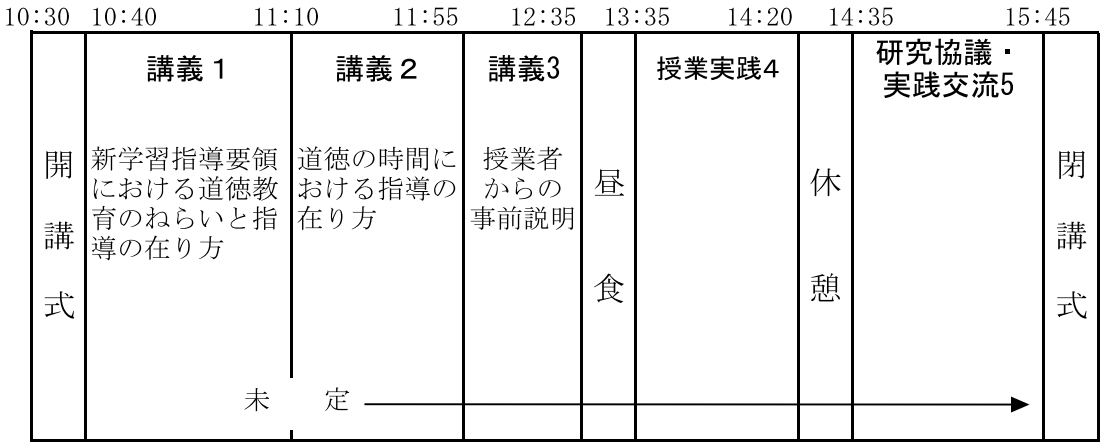
コミュニケーション能力の基礎を養う外国語活動の在り方　～誰でもできる外国語活動～

期　　日	平成２５年　５月１０日（金）・　８月　５日（月）
対 象 者	小学校教職員　中学校英語科教諭 ※特に外国語活動に不安をお持ちの方、歓迎します。
目　　的	コミュニケーション能力の基礎を養う望ましい実践・指導の在り方について研修する。
会　　場	後志教育研修センター（℡ 0136-22-1337）
研修の内容	１．学習指導要領における外国語活動のねらいと指導の課題 ２．コミュニケーション能力を育てる指導の工夫（授業実践） ３．授業実践研究 ４．外国語活動と英語科の関係について ５．各校の全体計画・指導計画の交流 ６．研究協議・実践交流
日　　程	
講　　師	◎ 高　橋　健　悟　（倶知安町立倶知安小学校　教諭） 　 赤　松　　恵　（ニセコ町立ニセコ中学校　教諭） ◇ 北海道立教育研究所　講師
持参品など	・各校の全体計画・指導計画の資料（２日目のみ） ・Ｈｉ　ｆｒｉｅｎｄ　１・２

⑮ 道　徳　教　育　研修講座

道徳の授業作りを考えよう

～ 授 業 実 践 を 通 し て ～

期　　日	平成２５年１１月　６日（水）
対 象 者	小中学校　教職員 ※初任者、初めて担任を持つ方などを歓迎します。
目　　的	道徳教育の充実を目指し、道徳教育の実践上の課題を取り上げ、道徳的実践力を育てる指導の在り方について研修する。
会　　場	未　　定
研修の内容	１.新学習指導要領における道徳教育のねらいと指導の在り方 ２.道徳の時間における指導の在り方 ３.授業者からの事前説明 ４.授業実践 ５.研究協議・実践交流
日　　程	
講　　師	◎ 梶　原　　大　（岩内町立岩内第一中学校　教諭） 岡　本　浩　靖　（岩内町立岩内中央小学校　教諭） ◇ 後志教育局　講師
持参品など	・実践資料、指導案等がございましたらご持参ください。（25部）

⑯　音　楽　科　研修講座

表現力につながる音楽科の授業

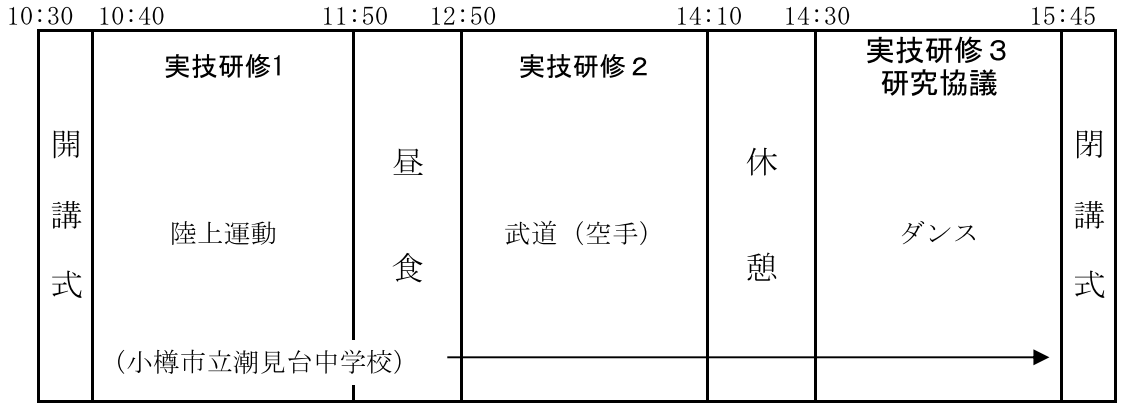
～ 実践交流と実技研修を中心に ～

期　　日	平成２５年　６月１８日（火）
対 象 者	小中学校　教職員
目　　的	音楽科指導の充実を目指して、個性を生かし、豊かな情操と感性を養う望ましい指導の在り方について研修する。
会　　場	倶知安町立西小学校　（℡0136-22-2125）
研修の内容	１．講義 ２．授業実践 ３．実技講習（小・中別）及び実践交流及び研究協議
日　　程	10:30 開講式 10:40 講義１　鑑賞授業の楽しみ 11:50 昼食 12:50 授業実践2　鑑賞授業の実践 14:10 休憩 14:30 実技講習３・実践交流・研究協議４ 【小学校】行事・学級づくりに生かせる作品交流 【中学校】中学校の音楽科における実践交流 15:45 閉講式 倶知安町立西小学校
講　　師	◎ 横　澤　　一（倶知安町立西小学校　教諭） 岩　﨑　　正（小樽市立長橋中学校　教諭） ◇ 後志教育局　講師
持参品など	・小学校の部　ソプラノリコーダー 行事・学級づくりで使える楽譜（合唱・器楽） ・中学校の部　合唱コンクールに関わる自由曲選曲リスト（生徒配布用資料）等があれば持参してください。

⑰ 保 健 体 育 科 研修講座

実践力の向上を目指して

～実技体験を通した授業づくり～

期　　日	平成２５年　８月２２日（木）
対 象 者	小中学校　教職員
目　　的	保健体育科の指導の充実を目指し、個性を生かし、心身ともに健康で運動に親しむ態度を育てる望ましい指導の在り方について研修する。
会　　場	小樽市立潮見台中学校　（℡　0134-33-1010）
研修の内容	１．実技研修１（武道） ２．実技研修２（陸上運動） ３．実技研修３（ダンス）及び研究協議
日　　程	
講　　師	◎ 小　寺　友　興　（小樽市立銭函小学校　教諭） 石　川　周　亨　（島牧村立島牧中学校　教諭） 岡　崎　利　美　（小樽市立潮見台中学校　教諭）
持参品など	・運動ができる服装できてください。 ・運動ぐつを持参してください。

⑱ 情　報　機　器　研修講座

授業における情報機器の効果的な活用法　　～ 電子黒板・スマートボードの活用法 ～

期　　日	平成２５年　８月　７日（水）
対 象 者	小中学校　教職員
目　　的	情報機器に関する基礎的な知識や操作方法をもとに、応用的・発展的に活用する指導の在り方について研修する。
会　　場	寿都町立潮路小学校（TEL　０１３６－６４－５００３）
研修の内容	１．デジタル教材（デジタル教科書含む）の紹介と活用法 ２．授業実践の紹介① ３．授業実践の紹介② ４．電子黒板を含むICT機器の操作 ５．教材作成に関わって（フリーウェアやサイトの紹介） ６．質疑応答
日　　程	10:30　11:50　12:50　14:10　14:30　15:45 第一日：開講式 ／ 講義１ デジタル教材の紹介と活用法 ／ 昼食 ／ 実践３ 電子黒板などの操作 ／ 休憩 ／ 講義・実践５ 教材作成に関わって ／ 閉講式 発表２ 授業実践の紹介①　／　発表４ 授業実践の紹介②　／　研究協議６ 質疑応答 （寿都町立潮路小学校）
講　　師	◎ 齊　藤　良　樹　（寿都町立潮路小学校　教諭） ◇外部講師　旭川市立春光小学校　教諭　山口　有士　氏
持参品など	・自分が管理するノートパソコン（ウィンドウズに限定） ※午後の講義・実践５で使用

⑲ 学　校　保　健　研修講座

子どもたちの心の健康を考える

期　　日	平成２５年　７月１６日（火）
対 象 者	小中学校　養護教諭
目　　的	学校保健の充実を目指し、一人ひとりの子どもたちが今当面する諸問題を取り上げ、その望ましい指導の在り方について研修する。
会　　場	後志教育研修センター（℡ 0136-22-1337）
研修の内容	１.研究討議　学校の現状報告～保健室から見える子どもたちの現状について～ ２.講演「トラウマが起こる仕組みとその予防」 ３.保健室ですぐに使えるグッズ紹介と作成
日　　程	10:30 開講式 10:40 研究討議１ 学校の現状報告～保健室から見える子どもたちの現状について～ 11:50 昼食 12:50 公開講義2 〔公開〕「トラウマが起こる仕組みとその予防」 14:10 休憩 14:30 講義３ 演習４ 保健室ですぐに使えるグッズ紹介と作成 15:45 閉講式
講　　師	◎ 佐　藤　ひろみ　（留寿都村立留寿都中学校　養護教諭） 谷　岡　三千子　（小樽市立桂岡小学校　養護教諭） ◇ プレマカウンセリング　　藤　原　ちえこ　氏
持参品など	

⑳ 学　校　事　務 研修講座

学校事務の今日的な課題

期　　日	平成２５年　５月１３日（月）
対 象 者	小中学校　事務職員
目　　的	学校事務の改善・充実を目指し、日常の実務を取り上げ、意欲的な学校事務を推進していく方法について研修する。
会　　場	後志教育研修センター　（℡ 0136-22-1337）
研修の内容	１.学校づくりに向けた学校事務の在り方 ２.「学校間連携」で進める学校財政・財務活動・教育情報活動 ３.「領域」を軸とした今後の学校事務の展開
日　　程	10:30 / 12:00 / 13:00 / 14:10 / 14:30 / 15:45 開講式 / 研究協議1：学校づくりに向けた学校事務の在り方 / 昼食 / 実践交流２：「学校間連携」で進める学校財政財務活動・教育情報活動 / 休憩 / 講義3：「領域」を軸とした今後の学校事務の展開 / 閉講式
講　　師	◎ 中　村　祐　明（寿都町立潮路小学校　事務職員） 田　村　幸　治（ニセコ町立ニセコ中学校　事務職員） 佐　藤　貴　広（倶知安町立北陽小学校　事務職員）
持参品など	

㉑ へ き 地 複 式 教 育　研修講座

複式学級における学習指導～初めての複式～　～少人数・複式の授業を通して～

期　　日	平成２５年　５月１６日（木）
対 象 者	小中学校　教職員 ※へき地校の経験の少ない方　悩みがある方、お待ちしています！
目　　的	へき地複式教育の充実を目指し、学習指導上の諸問題を取り上げ、その望ましい在り方について研修する。
会　　場	余市町立登小学校（℡0135-22-3525）
研修の内容	１.小規模校の特性を生かした教育実践について ２.算数科授業実践（複式授業） ３.研究協議・実践交流
日　　程	
講　　師	◎ 髙　橋　　創　（倶知安町立西小学校　樺山分校　教諭） 吉　田　　肇　（余市町立登小学校　教諭）
持参品など	・ 講義１のデータ（パワーポイント）が欲しい方は、USBメモリーを持参してください。 ・ 実践交流の中で、知りたいことや困っていることがありましたら、気兼ねなくお聞きください。

㉒ 生 活 科 ・ 総 合 的 な 学 習 の 時 間　研修講座

生活科・総合的な学習の充実を目指して

～学習・活動の充実を目指して～

期　　日	平成２５年　８月　８日（木）
対 象 者	小中学校　教職員　　社会教育担当者
目　　的	生活科・総合的な学習の充実を目指し、自ら学ぶ意欲を育てる望ましい活動展開の在り方について研修する。
会　　場	後志教育研修センター（℡ 0136-22-1337）
研修の内容	１．生活科・総合的な学習のねらいと課題 ２．【生活科】子どもの豊かな発想を引き出す指導と評価の工夫 ３．【総合的な学習】地域の実情にあった総合的な学習の組み立て方 ４．【生活科】子どものよさを見とる教師のかかわり ５．研究協議及び各校の実践の様子について
日　　程	10:30 開講式 10:40 講義1　生活科・総合的な学習の時間のねらいと課題 11:50 昼食 12:50 講義2・3　【生活科】子どもの豊かな発想を引き出す指導と評価の工夫　【総合的な学習】地域の実情にあった総合的な学習の組み立て方 14:10 休憩 14:30 演習4 研究協議5　【総合的な学習の時間】各校の実践の様子について 15:45 閉講式
講　　師	◎ 髙　木　弘　道　（積丹町立美国小学校　教諭） 瀬戸川　典　子　（仁木町立仁木小学校　教諭） ◇ 後志教育局　講師
持参品など	・各校で行っている生活科・総合的な学習の資料や実践資料を持参してください。

㉓　食　　育　研修講座

望ましい食習慣の定着を目指して

期　　日	平成２５年　８月　１日（木）
対 象 者	小中学校栄養教諭　　栄養職員　　栄養士　　小中学校教職員
目　　的	学校給食メニューを活用した食育と、食に関わる指導の充実を目指し、児童生徒の健全な食習慣を育む望ましい指導の在り方について研修する。
会　　場	後志教育研修センター　１Ｆ　調理室（℡ 0135-23-5001）
研修の内容	１.調理実習 ２.食育のねらいと今日的課題 ３.研究協議・実践交流
日　　程	10:30 開講式 10:40 調理実習1　地域の特産品や学校給食のメニュー 11:50 昼食 12:50 授業実践２ 研究協議３　食育を取り入れた授業実践の視聴及び研究協議 14:10 休憩 14:30 実践交流４　各校の食育の取組の交流 15:45 閉講式
講　　師	◎ 田　中　彩　香　（仁木町立仁木小学校　栄養教諭） 福　井　隆　子　（真狩村立真狩小学校　栄養教諭）
持参品など	・エプロン、三角巾 ・食育授業の指導案・資料等

㉔ 社　会　教　育　研修講座

『新しい公共』の担い手を育む社会教育の在り方

～生涯学習事業の連携・ネットワーク化について～

期　　日	平成２５年　９月　６日（金）
対 象 者	社会教育担当者 （社会教育主事・司書・学芸員・生涯学習アドバイザー・社会教育指導員） 小中学校教職員
目　　的	市町村間や、学校と教育委員会などの連携・ネットワークを生かした活動を担う人材育成を進める方策について実践交流をするとともに、より効果的な取り組みを行うための知識や技術を身につける。
会　　場	後志教育研修センター（℡ 0136-22-1337）
研修の内容	１.情報交流「市町村間連携の実践事例について」 ２.演習「連携・ネットワーク化を進めるための方策について」 ３.情報提供・研究協議
日　　程	10:30　11:00　12:00　13:00　15:30　15:50　16:00 開講式 / 導入 / 情報交流1：市町村間連携の実践事例について / 昼食 / 演習2：連携・ネットワーク化を進めるための方策について / 情報提供・研究協議3 / 閉講式
講　　師	◎ 講座運営委員　後志教育研修センター所員 □ 講座運営協力員　後志教育局社会教育指導班 ◇ 外部講師　未定
持参品など	・筆記用具

㉕図 書 館 教 育（読 書 指 導）　研修講座

豊かな心を育む読書指導

期　　日	平成２５年　９月　４日（水）
対 象 者	小中学校教職員　社会教育担当者
目　　的	学校図書館についての理解を深め、生き生きと楽しい読書活動の在り方について研修する。
会　　場	後志教育研修センター（℡ 0136-22-1337）
研修の内容	１.豊かな心をはぐくむ読書指導～ブックトークなど～ ２.豊かな心をはぐくむ読書指導～リテラチャーサークルなど～ ３.ビブリオバトル体験
日　　程	10:30 開講式 10:40 講義１ 豊かな心をはぐくむ読書指導～ブックトークなど～ 11:50 昼食 12:50 講義２ 豊かな心をはぐくむ読書指導～リテラチャーサークルなど～ 14:10 休憩 14:30 演習３ ビブリオバトル体験 15:45 閉講式
講　　師	◎ 佐　藤　淳　子　（小樽市立長橋中学校　教諭） 　 加　藤　幸　子　（倶知安町立東小学校　教諭） ◇外部講師　　未　　定
持参品など	・演習で使用するお気に入りの本を1冊持参してください。

㉖ 幼　児　教　育　研修講座

「幼・保・小」の連携について

期　　日	平成２５年　８月　２日（金）
対 象 者	幼稚園教職員　保育所保育士　小学校教職員
目　　的	幼児教育の充実を目指し、幼児の発達について理解を深め、幼児期にふさわしい生活が展開できるよう環境構成や援助の工夫の在り方を研修する。
会　　場	後志教育研修センター（℡ 0136-22-1337）
研修の内容	１.年長の子どもの１日の過ごし方について ２.入学してからの３日間の子どもたちの生活について ３.幼・保・小の連携のあり方について
日　　程	10:30 開講式 10:40 講義１ 年長の子どもの１日の過ごし方について 11:50 昼食 12:50 講義２ 入学してからの３日間の子どもたちの生活について 14:10 休憩 14:30 研究協議３ 幼・保・小の連携のあり方について 15:45 閉講式
講　　師	◎　金　本　真　一　（岩内町立東小学校　教諭） ※幼稚園教諭　未定
持参品など	

㉗ 書　写　実　技 研修講座

暮らしに、授業に生かす書道

～授業の充実を目指して～

期　日	平成２５年　８月　９日（金）
対象者	小中学校　教職員 ※書写担当者で困っている人
目　的	書写実技で習得した力を、日常生活にも生きてはたらくような指導力につなげる。
会　場	後志教育研修センター　（℡ 0136-22-1337）
研修の内容	１．毛筆指導の実際 ２．書写実技 ３．グループ交流・全体交流
日　程	10:30 開講式 10:40～11:50 実習１　実技演習 11:50～12:50 昼食 12:50～14:10 実習２　臨書・暮らしの書他（片づけ） 14:10～14:30 休憩 14:30～15:45 実践交流３　研究協議４　グループでの実践交流 15:45 閉講式
講　師	◎ 井　上　公　明　（留寿都村立留寿都中学校　教諭） 秋　元　　雪　（小樽市立塩谷小学校　教諭） 北　澤　実和子　（赤井川立赤井川小学校　教諭）
持参品など	・汚れてもいい服装（スーツ不可） ・書道用具一式

㉘ 技術家庭科（家庭科） 研修講座

短時間で行える実習

～授業の充実を目指して～

期　　日	平成２５年　８月２８日（水）
対 象 者	小中学校　教職員 ※免許外で指導されている先生方の参加をお待ちしております。
目　　的	家庭分野指導の充実を目指し、個性を生かし、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる望ましい在り方について研修する。
会　　場	倶知安町立倶知安中学校　（℡ 0136-22-1337）
研修の内容	１．手軽にできる調理 ２．日本の伝統文化をテーマとした被服実習 ３．実践交流・研究協議
日　　程	10:30 開講式 10:40 オリエンテーション 講義１（調理） 手軽にできる調理 12:00 昼食 13:00 講義２（被服） 日本の伝統文化をテーマとした被服実習 14:30 休憩 14:40 実践交流・研究協議３ 15:45 閉講式
講　　師	◎ 佐　藤　美知留（小樽市立長橋中学校　教諭）
持参品など	・エプロン、三角布 ・裁縫道具 ・授業で使用しているプリント、資料等 ・作業しやすい服装で参加してください。（昼食は実習で作ったものを試食）

㉙ 図 工 ・ 美 術 科 研修講座

誰でもできる図工・美術指導

期　　日	平成２５年　７月　９日（火）
対 象 者	小中学校　教職員
目　　的	図工・美術科の指導の充実を目指し、個性を生かし創り出す喜びと豊かな感性や情操を養う望ましい指導の在り方について
会　　場	後志教育研修センター（℡ 0136-22-1337）
研修の内容	１．講義（デザインの基本・ポスターに活用できる技法） ２．実技講習（絵文字） ３．作品交流・鑑賞の方法・研究協議
日　　程	10:30 開講式 10:40 講義１ 実技２ ・デザインの基本 ・ポスターに活用できる技法 11:50 昼食 12:50 実技３ ・絵文字 14:10 休憩 14:30 研究協議４ 作品交流５ ・作品の交流 ・鑑賞の方法について 15:45 閉講式
講　　師	◎ 佐　藤　初　実　（小樽市立菁園中学校　教諭） 赤　松　瑞　枝　（黒松内町立黒松内小学校　教諭）
持参品など	・絵の具セット、鉛筆、定規

ミ　ニ　道　研　　研修講座　　※詳細（申込含）は後日

期　　日	平成２５年　６月１２日（水）
主　　催	北海道立教育研究所
主　　管	後志教育研修センター
対 象 者	小中学校　教職員
会　　場	後志教育研修センター
内　　容	9:20　9:30　12:00　13:00　16:00 受付 / 開講式 / 基本研修 **教科指導（全教科）**：教科指導の基本的な考え方について理解を深めるとともに、学習内容を定着させるための実践的指導力の向上を図ります。 **説明・演習・協議**：○教科指導の基礎的・基本的な指導 ・指導過程の工夫 ・効果的な課題提示 ・言語活動の充実を図る授業づくりなど ○思考力・判断力・表現力等を育む授業づくり ・学習指導案の改善 ・模擬授業による検証など 昼食 **言語活動**：各教科等における言語活動の意義を理解し、言語活動を充実させ、目標を達成する授業づくりの力量の向上を図ります。 **説明・演習・協議**：○言語活動が重視される背景 ○国語科における言語活動 ○各教科等における言語活動　など ○言語活動の充実を図った授業づくり ・持参した指導計画、学習指導案の改善 ・言語活動を充実する場面の位置づけ ※国語科～単元 ※国語科以外～1単位時間
講　　師	◇ 北海道立教育研究所　講師
備　　考	

様式

平成２５年度

後志教育研修センター研修講座受講申込書

【　　学校】

No.	Ⅰ　学校・学級づくりの講座							
	1	2	3	4	5	6	7	
講座名	学校経営（１）	学校経営（２）	組織マネジメント	学級経営１	学級経営２	校内研修	特別支援教育	
氏名								

No.	Ⅱ　実践と授業を結びつけた講座							
	8	9	10	11	12	13	14	15
講座名	学習指導	国語科	社会科	算数・数学科	理科	英語科	外国語活動	道徳教育
氏名								

No.	Ⅲ　指導実技を高める講座			Ⅳ　専門性を高める講座				
	16	17	18	19	20	21	22	23
講座名	音楽科	保健体育科	情報機器	学校保健	学校事務	へき地複式教育	生活科・総合的な学習	食育
氏名								

No.	Ⅴ　生涯学習に結びつく講座				Ⅵ　隔年開催講座			
	24	25	26	27	28	29		
講座名	社会教育	図書館教育	幼児教育	生涯学習（書写実技）	技術・家庭科（家庭分野）	図工・美術科		
氏名								

No.	公開講義　※公開講義のみ参加する場合だけ、講座名とお名前を記入下さい。							
講座名								
氏名								

※講師の方は、氏名の前に◎をつけて下さい。

研修センターからのお知らせ

後志管内教職員夏季研修会　教育講演会

北海道公立学校教職員互助会の助成が平成２３年度より隔年となり、センター補助事業として実施しております。今年度は助成がありませんのでセンター事業として８月上旬に開催を予定しております。

【過去の講演】　平成２４年度　童門　冬二氏「生かそう、日本の心」～補助事業
平成２３年度　阿部　豊氏（後志教育局長）
「学校を支える社会教育」～センター事業
平成 22 年度　千石涼太郎氏「求められる人とは」～補助事業
平成 21 年度　森永　琢郎氏「格差社会と教育と学ぶこと」～補助事業
平成 20 年度　金田一秀穂氏「心地よい日本語」～補助事業

教育資料室と新着図書

研究室と併設する教育資料室には、教育関係の図書・雑誌をはじめ、管内の学校から寄贈された研究紀要、道内外の教育関係機関の刊行物がございます。第１研修室前ろう下にも、新着図書や各校の研究紀要を閲覧できるスペースを設けております。　研修講座や会議で来所された際に、お気軽にご活用ください。また、購入図書の選定に関しましても、先生方の興味関心のある図書のリクエストを受け付けております。

【平成２４年度新着図書】楽しく学ぶ数学の基礎＜上：基礎体力編、下：体力増強編＞星川　直彦著
フィンランド・メソッドの学力革命、
学級力が育つワークショップ学習のすすめ　田中　博之著　　など多数

後志教育研修センター　ホームページ



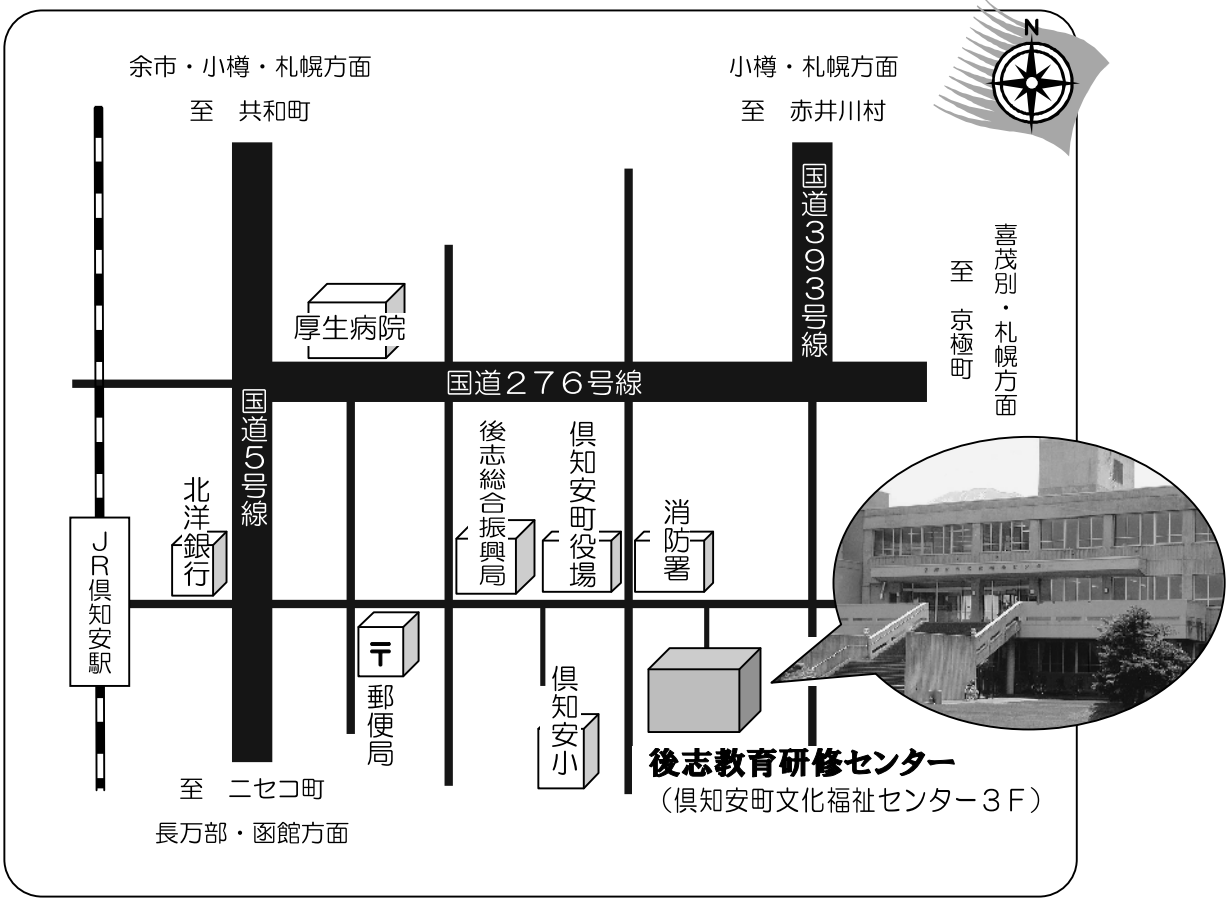
研修講座についての詳しい内容、研修センターで開催される研究会の案内、行事予定カレンダー、研究紀要のダウンロード、新着図書など、ホームページでは新しい情報を発信しています。

ぜひご活用ください。

http://www.shiribeshi-etc.jp/

『後志教育研修センター』で検索

後志教育研修センター　交通アクセス



研修センター施設平面図



後志教育研修センターの各種研修室は、教育関係の会議、研修会等に無料でご利用いただいております。

ご利用予約はお電話で受付しておりますので、事前にお申し出ください。

※ご使用いただける備品：スクリーン、プロジェクタ、ノートパソコン、ホワイトボード等

※利用についてのご注意：館内は禁煙です。ゴミは各自でお持ち帰りください。

※平成２４年度の利用者数：２，４４９名（研修講座を除く）